



三陽図書館ニュース



桜桃忌（おうとうき）6/19

太宰治の遺体が発見された6月19日は「桜桃忌」と名づけられ、墓所のある禅林寺(三鷹市下連雀)にはいまでも毎年多くの太宰ファンが参拝に訪れています。



太宰治は日本の文学作家です。
『人間失格』や『斜陽』、『走れメロス』など、多くの名作を残しました。

19日は太宰を読もう！

NEW

ものがわかるということ

著：養老 孟司

ものがわかるとは、理解するとはどのような状態のことを指すのでしょうか。養老先生は子供の頃から「考えること」について意識的で、一つのことについてずっと考える癖があったことで、次第に物事を考え理解する力を身につけてきたそうです。養老先生が自然や解剖の世界に触れ学んだこと、ものの見方や考え方について、脳と心の関係、意識の捉え方について解説した一冊。

ものごとをわかるということとは、考え続けることとなのだと感じました。文章も読みやすく、スッと心に響く「言葉」の数々。本書を読んで、いかに自分が視野の狭い考え方だったのかと反省しきりでした。養老さんは高学歴で、難しい事しか言わないと、今まで読まなかった自分をぶん殴りたいです(笑)



NEW

開けてはいけない シカクゾトゾト

著：黒史郎/染谷果子/波摘

正方形サイズが目を引き、惹きつける、新感覚ホラー短編集！
「開けてはいけない」ものに出会った15人のお話をたっぷり収録。1話5分程度で読めるので、朝読にも最適です。



ショートショートとは、短篇小说よりもさらに短く、意外なアイディアに満ちた小説です。

こちらはホラーがテーマになっていますが、そんなに怖くないので怖い話が苦手な人でも大丈夫だと思います。少ないページ数の中で展開される起承転結に、思わず『え?!』となり、『えっ!!』となる・・・ぜひ、その感覚を味わってみてください

日本・世界の偉人クイズ

私は誰でしょう？



- 1862年に高知県に生まれました。
- 小学校を中退し、独学で植物について学びました。
- 精密な植物図を自ら描きました。
- 現在も読み継がれる有名な植物図鑑の著者です。

©少年写真新聞社 2023

答えは館内に掲示してます！

【作成者】下條/永田